

1. 人口ビジョン（素案）の概要

1. 計画期間 令和7年（2025年）～令和42年（2060年）

2. 人口の将来展望

（1）課題解決の方向性

総人口の推移や産業構造等の人口動向、市民や学生へのアンケート結果といった現状分析から、本市の課題を抽出し、課題解決の方向性を整理。

- ①雇用環境を維持・向上し、若者が就職のため札幌市や首都圏に転出することを抑制する。また、進学などで一度転出した若者のUターンを促進する。
- ②安心して結婚・子育てしやすい環境を整備することで、結婚・子育て世代の転入を増やし、合計特殊出生率を向上させる。
- ③域内交通の充実など生活環境を改善し、苫小牧市での暮らしのメリットをPRすることで、交流人口やUIターンをより増加させる。
- ④本市への移住を後押しするような移住支援を拡充することで、UIターンをより増加させる。

（2）将来展望人口のシミュレーション

【①合計特殊出生率の目標】

令和2年（2020年）に閣議決定した「少子化社会対策大綱」において、基本的な目標として「希望出生率1.8」が掲げられた。

また、北海道人口ビジョンにおいても令和12年（2030年）又は令和22年（2040年）に合計特殊出生率が1.8になると仮定して人口推計を行っていることを踏まえ、本市の合計特殊出生率の目標値を1.8とする。

【②純移動の目標値】

転出が多い20歳代と、今後の子育て世代となる可能性の高い30歳代において、平成27（2015年）～令和2年（2020年）までの人口の純移動率が、-1.1%であることと半導体工場やデータセンターの誘致等の企業誘致が加速することから本市の純移動率の目標値を第2期から引き上げ、20歳代～30歳代で1%とし、その他の年代でゼロとする。

①合計特殊出生率（自然動態）

2040年までに段階的に引き上げ
（合計特殊出生率 1.41⇒1.80）



②純移動率（社会動態）

移動率ゼロ + 20～30歳代の
純移動を引き上げ（-1.1%⇒1%）

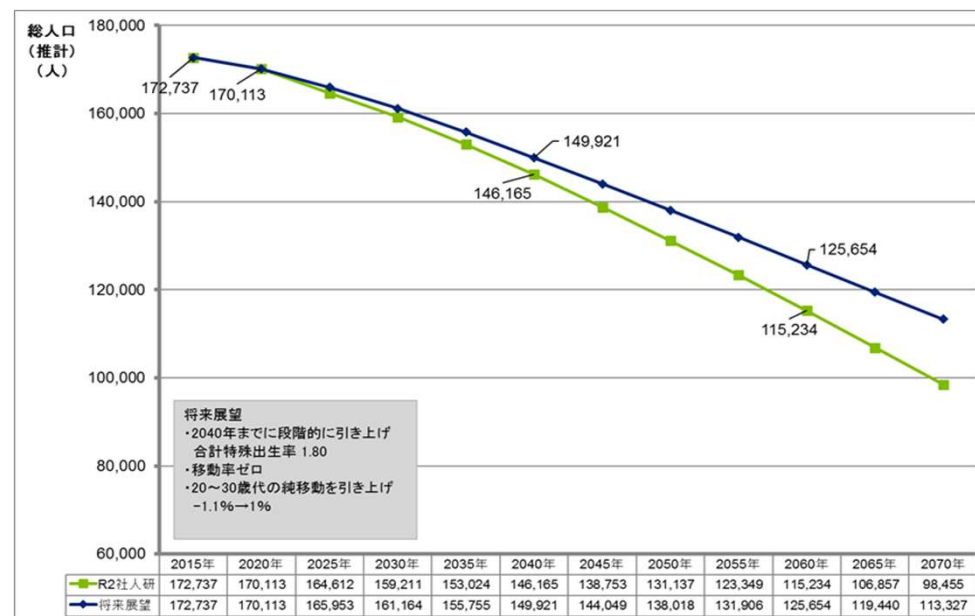
推計値（単位：人）

推計値（単位：人）	
2040年	2060年
149,921	125,654

（3）人口の将来展望

現在の人口165,758人（令和6年9月末時点）

令和22年（2040年）15万人を維持・令和42年（2060年）13万人を維持



2. 総合戦略（素案）の概要

1. 計画期間

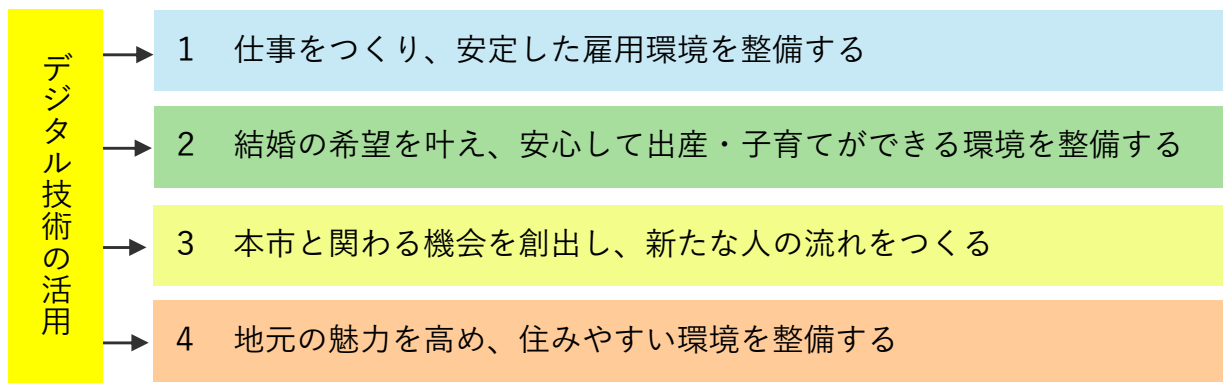
令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度）

2. 総合戦略の推進により目指す本市の姿

健康で安全な都市環境のもと、世代や性別に関わらず、豊かで明るく誰もが住みやすい「とまこまい」

3. 基本目標

本市のこれまでの総合戦略における取組や、国が示す、デジタル技術の活用により、社会課題の解決や魅力の向上に取り組むべき施策の方向を基に、本市の優位性を踏まえつつ課題認識や優先順位を考慮し、新たに4つの基本目標を設定。



4. 施策の体系

4つの基本目標を実現するために
12の「施策」を展開

- ◆ 第2期総合戦略の事業で継続すべき事業
- ◆ 新たに取組を検討している事業
- ◆ 中長期的な視点により検討していくべき事業

5. SDGsの視点による地方創生

各施策がSDGsのどの目標に結びついているのか、見える化を図り、行政の個々の取組が日本はもとより世界が進める持続可能なまちづくりにつながっているのかを共有。



6. 多様性に富んだ社会、安全・安心な地域づくりで地方創生を推進

活気あふれる地域をつくるためには、誰もが居場所と役割を持ち、個人として尊重され、その個性と能力を発揮し、活躍できる地域社会を実現することが地方創生を推進する重要なポイント。

北海道で初めて宣言した「苫小牧市男女平等参画都市宣言」に掲げた、理念を念頭に各種事業を推進。

7. 「4つの基本目標」と「目標実現のための施策」の概要

基本目標1 仕事をつくり、安定した雇用環境を整備する

【基本的方向】

- 人手不足や人材確保等に向けた支援、時代の潮流を踏まえた企業誘致、立地企業へのサポートを進め、地域産業の活性化や競争力の強化につながる施策展開
- 創業（起業）希望者への一貫したフォローによる中小企業者等の育成
- 若年層（20歳代）の転出抑制及び転出者の再転入を促すための雇用環境の充実と、地元学生を対象とした就職に必要な支援による地元就職促進

【数値目標】 「働く場」としての魅力度、「地元優良企業」の認知度

施策

① 進出・立地企業へのサポート機能の強化

戦略的企業誘致活動、立地企業の人材確保や雇用環境改善支援、コンサルティング等

② 創業・事業承継支援

創業支援によるスタートアップ企業、ベンチャー企業の創出、事業承継推進

③ 若者の地元就職の促進

地元学生の市内就職促進、Uターン希望者等への合同説明会や企業のマッチング支援等

基本目標2 結婚の希望を叶え、安心して出産・子育てができる環境を整備する

【基本的方向】

- 結婚希望者に対する支援等
- 妊娠、出産、子育てに関する相談体制の充実や経済的な負担軽減などの必要なサポート、仕事と子育ての両立や多様化する世帯構成に対応した支援

【数値目標】 出生者数（人口想定ベースで試算）、子育て環境や支援の満足度

施策

① 結婚の希望を叶える支援

結婚希望者への出会いのきっかけづくりやマッチング等による結婚者数の増

② 子育ての不安感を緩和し、健やかな育ちの支援

母子保健や育児の相談体制構築等、副食費・給食費助成等

③ 仕事と子育ての両立支援

保育サービス等の充実、出産や育児等を理由に離職している女性の就職支援等

基本目標3 本市と関わる機会を創出し、新たな人の流れをつくる

【基本的方向】

- 苫小牧出身者や本市に興味・関心のある層への情報発信、魅力資源をいかしたイベントの実施による来訪機会の創出
- 本市への移住検討者に対しての相談支援体制の構築と移住支援

【数値目標】 転入者数（定住人口数）、観光入込客数（交流人口数）

施策

① 交流人口の拡大支援

来訪型イベントや本市の魅力資源を活かした取組

② 関係人口の創出

本市の特徴を活かした関係人口の創出、市外在住者へのシティプロモーション

③ 移住促進

移住希望者への効果的な情報発信と相談支援、移住者への支援

基本目標4 地元の魅力を高め、住みやすい環境を整備する

【基本的方向】

- 市民が苫小牧市の理解を深め愛着を持てるように、本市の特徴を生かした魅力の向上と、進学や就職を期に本市を離れた方が戻ってきたいと思える環境づくり
- 災害から安全・安心を確保するための災害対策の強化
- 地域コミュニティの活性化や生活利便性の向上等の生活環境の改善

【数値目標】 「苫小牧市は住みやすい」、「卒業後も苫小牧市に住み続けたい」と答えた人の割合

施策

① 地元の特徴を生かしたさらなる魅力の向上

本市の特産品PR、港湾産業都市としての環境整備、スポーツ振興など

② 災害時等に備えた安全安心なまちづくりの強化

地震や津波など大規模自然災害発生の備えの強化

③ 充実した都市機能の整備

中心市街地のまちづくり、ICT活用等による公共交通ネットワーク形成、公共施設更新・改修・統廃合、ゼロカーボンシティの実現